

29 沖縄県建設業ゼロ災運動

沖縄労働局・内閣府沖縄総合事務局・沖縄県土木建築部
建設業労働災害防止協会沖縄県支部

1 趣旨

沖縄県の建設業における労働災害は、関係者の熱意と長年にわたる労働災害防止活動により、年間死傷者数500人を超えていた昭和の時代から、平成15年には過去最少の129人まで減少してきましたが、その後は増減を繰り返し、平成26年には189人と大幅に増加し、平成10年以降最多の死傷者数となりました。

このような状況を打破すべく、平成27年に産官が共同主唱者となって「沖縄県建設業ゼロ災運動」をスタートさせ、関係者一丸となって積極的に労働災害防止活動を展開してきました。その結果、平成27年の死傷者数は前年と比べて17人(10.2%)減少し、平成28年も12月末速報値で前年同期と比べて19人(12.1%)と連続して減少してきました。さらには死亡者数も大幅に減少し、「沖縄県建設業ゼロ災運動」の成果が着実に表れています。

しかしながら、建設業においては工事量の増加が見込まれるなか、技能労働者の不足や建設労働者の高齢化等、依然として労働災害の増加要因を抱えており、一層の労働災害防止活動が必要となっています。また、平成29年は第12次労働災害防止計画の最終年にあたり、同計画の目標達成のためにも引き続き労働災害を大幅に減少させる必要があります。このようなことから、厚生労働省沖縄労働局、内閣府沖縄総合事務局、沖縄県土木建築部、建設業労働災害防止協会沖縄県支部は、関係者の協賛・賛同のもと、継続して「沖縄県建設業ゼロ災運動」を主唱し、更なる建設業の安全を追求します。

12月末日現在の速報値ベース

2 スローガン

建設業のみんなでスクラム ゼロ災害

3 取組期間

平成29年1月～平成29年12月

4 主唱者

沖縄労働局、内閣府沖縄総合事務局、沖縄県土木建築部
建設業労働災害防止協会沖縄県支部

5 協賛者

一般社団法人沖縄県建設業協会、一般社団法人沖縄県中小建設業協会
沖縄県建設事業協同組合、沖縄県薦土工業会
全建総連沖縄県建設ユニオン、沖縄基礎工業協同組合
一般社団法人日本クレーン協会沖縄県支部、一般社団法人沖縄県電気管工事業協会
一般社団法人日本塗装工業会沖縄県支部、沖縄県左官業組合連合会
一般社団法人沖縄県造園建設業協会、沖縄県管工事業協同組合連合会
沖縄県電気工事業工業組合、沖縄県解体工事業協会
公益社団法人建設荷役車両安全技術協会沖縄県支部、沖縄県クレーン事業協同組合
西日本圧接業協同組合沖縄ブロック、協同組合沖縄県鉄構工業会
一般社団法人沖縄県磁気探査協会、一般社団法人沖縄県農林水産土木建設会
一般社団法人沖縄県労働基準協会

安全活動の「見える化」コンクール

29～沖縄県建設業ゼロ災運動～

主唱者：沖縄労働局・沖縄総合事務局・沖縄県・建災防沖縄県支部

沖縄労働局HPトップページの **バナー** をクリックしよう！



1 趣旨

平成27年1月から展開している「沖縄県建設業ゼロ災運動」の一環として、安全活動の一層の活発化を図るため、建設現場における「見える化」事例のコンクールを実施します。

2 「見える」安全活動とは

職場に潜む危険など、視覚的に捉えられないものがあります。それらを可視化（見える化）すること、また、これを活用することによる効果的な安全活動を「見える」安全活動と言います。危険認識や作業場の注意喚起をわかりやすく周知でき、また、一般の労働者も参加しやすいなど、安全確保のための有効なツールです。

3 概要

建設現場で取り組まれた「見える化」の事例（作品）を広く募集します。

応募作品の中から入選作品（10作品以内）を表彰し、沖縄労働局ホームページ等で公表します。

応募締切：平成29年10月31日(火)

応募方法：応募様式に、建設現場で取り組んだ「見える化」の写真を貼り、コメントを記入して応募先宛てメール又は郵送します。

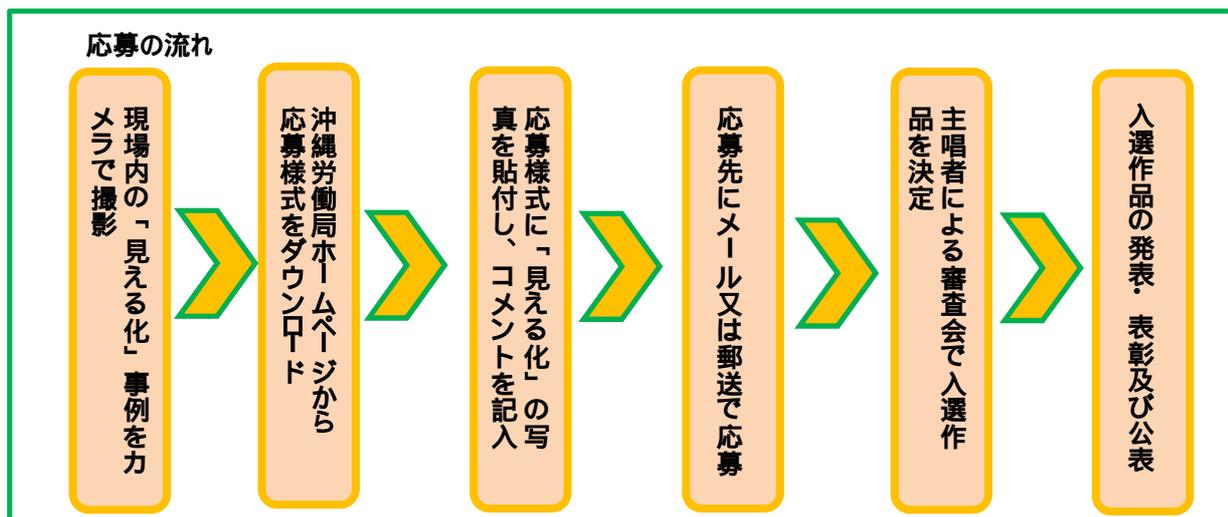
応募様式：沖縄労働局ホームページ：<http://okinawa-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>からダウンロードできます。

応募先：「沖縄県建設業ゼロ災運動『見える化』コンクール」事務局
(建設業労働災害防止協会沖縄支部内)

〒901-2131 沖縄県浦添市牧港5-6-8 沖縄県建設会館 5F (☎876-5273)

応募専用メールアドレス：kensaibou.okinawa.boshu1@gmail.com

発表・表彰：平成29年12月



沖縄県建設業ゼロ災運動『見える化』応募様式

工事現場名称	□□△△邸新築工事
工事の種類	建築工事 土木工事 その他(設備工事等)(○で囲む)
元請事業場名称	ゼロ災建設株式会社
連絡先(担当者氏名)	000-0000-0000 (安全 太郎)

「見える化」事例



事例の概要 (コメント)	現場内での安全帯、保護帽の着用などを作業者の目につきやすい場所に掲示することにより、現場管理者から作業者へ安全な作業を周知している。
-----------------	--

○厚生労働省安全プロジェクト/『見える』安全活動コンクール』掲載の取組事例



主な実施事項

- 主唱者・協賛者による合同パトロール
- 協賛者（個別の建設業団体）ごとに災害防止上の重点対策の策定
- 建設事業者によるゼロ災宣言
- 安全活動の「見える化コンクール」の開催
- 啓発ステッカーをヘルメットに貼りつける



☑ 事業者・作業者の皆様へ



☐ ゼロ災ステッカーを保護帽に貼りましょう



実施済には ✓ をつけよう！

- ☐ 代表者によるゼロ災宣言を行いましょよう
- ☐ 元請け事業者は統括管理を徹底しましょよう
- ☐ 新規入場者教育を徹底しましょよう。
- ☐ 「見える化」等の工夫した安全活動を行いましょよう。
- ☐ 安全活動の「見える化コンクール」に積極的に応募しましょよう。

☐ ポスターを掲示しましょよう

災害防止重点事項

1 墜落・転落災害防止対策の徹底（共通）

「足場からの墜落・転落災害防止総合対策推進要綱」の推進を図り適正な足場の設置、スレート屋根、作業床の設置が困難箇所での災害防止対策、脚立、はしご等の適正な使用方法を指導する。

2 新規入場者教育の徹底（元請）

作業員の不安全行動を防止するため安全教育を徹底する。

沖縄労働局HPトップ画面右側にあるこのバナーをクリックしましょよう。



沖縄県建設業 ゼロ災運動
沖縄労働局・沖縄総合事務局・沖縄県土木建築部・建災防沖縄県支部